

自営線を活用した太陽光 P P A による電力供給の開始

～自家消費型太陽光として北陸電力グループ最大・架台に U A C J の再生アルミ材使用～

2026 年 10 月 26 日

株式会社 U A C J

北陸電力株式会社

北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社

株式会社 U A C J（代表取締役：田中 信二、本社：東京都港区、以下、U A C J）および北陸電力グループの北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社（代表取締役社長：常光 健一、本社：富山県富山市、以下、北電 B E S T）はこのほど、U A C J 福井製造所（以下、福井製造所）に再生可能エネルギー由来の電気（以下、再エネ電気）を供給する太陽光 P P A^{※1}を締結しました。

本契約は、北電 B E S T が U A C J 専用の太陽光発電所（以下、発電所）を工場敷地外に開発し、そこで発電された再エネ電気を、自営線^{※2}（約 4 km）を介して福井製造所に供給するものであり、11 月 1 日よりサービスを開始します。これにより、福井製造所の従来の電力の一部は再エネ電気に置き換えられ、北陸電力が提供する再エネ電気料金メニューと合わせて U A C J の CO₂ 排出量は年間 27,694 t 削減（電気の再エネ化率 23.5%）される見込みです。契約期間は今後 20 年間となります。

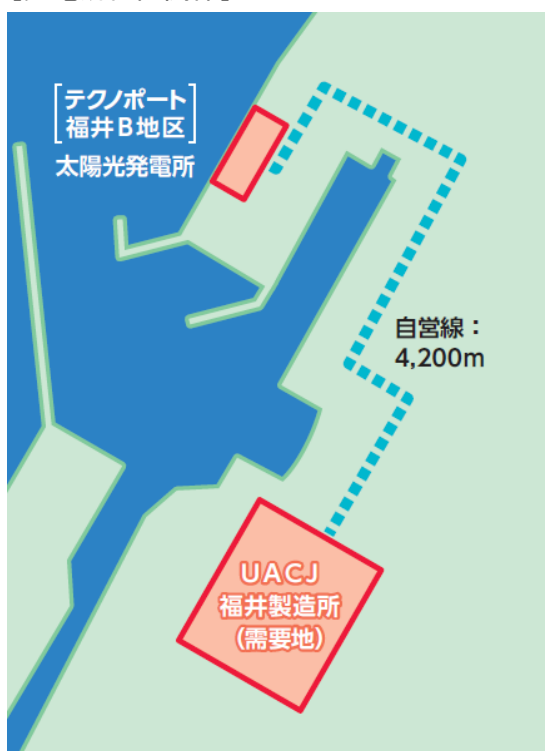
本件の太陽光パネルの架台は、環境負荷低減の観点から U A C J の再生アルミ材を使用しております。将来、撤去を迎える際にも、これらの架台は U A C J がリサイクル活用を予定しております。また、北電 B E S T が開発する自営線を介するオフサイト型（敷地外設置・自家消費型）太陽光発電所として最大となります。

今後も、U A C J と北陸電力グループは、環境に配慮した事業活動の継続的な取り組みに加え、さらなる CO₂ 排出量削減の推進を通じて、脱炭素の実現および地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

※¹ P P A：発電事業者が太陽光発電設備などを設置・所有・管理し、そこで発電した電気を直接購入する仕組み。P P A は「Power Purchase Agreement（電力購入契約）」の略。

※² 自営線：一般送配電事業者の送電網ではなく、発電事業者（北電 B E S T）が自ら敷設して維持管理する専用の送電線

〔発電所位置関係〕



〔再生アルミ材架台〕

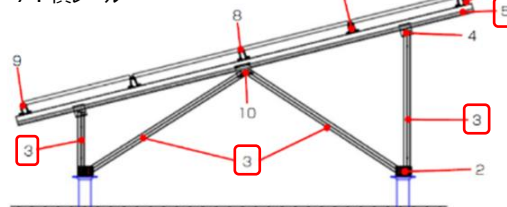


■再生アルミ材 使用箇所 (赤枠囲み)

3：前柱、後柱、斜材

5：縦棧

7：横レール



〔発電設備概要〕

発電所概要	太陽光パネル容量 ：7,430kW (645W×11,520 枚) パワーコンディショナー ：5,000kW (125W×40 台) 発電量 (想定) ：8.5GWh/年
発電所所在地	福井県坂井市三国町新保 (テクノポート B 地区) 敷地面積 ：75,197 m ²
自営線概要	距離：約 4,200m (電柱本数 81 本)

■UACJについて

株式会社UACJ (ユーエーシージェー) は、グローバルに事業を展開するアルミニウム総合メーカーです。「アルミでかなえる、軽やかな世界」をスローガンに掲げ、素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献することを目指しています。

飲料缶、自動車、IT 機器、空調、航空宇宙・防衛などの幅広い分野に、アルミニウムの板、箔、押出、鋳鍛、加工製品を提供しています。アルミ圧延を開始してから 125 年以上にわたり受け継いできた技術を生かし、人びとの暮らしや産業を支えています。また、アルミニウムの循環型社会構築に向け、さまざまな領域でリサイクルを推進しています。

2026 年 3 月期の連結売上高は 1 兆 1,817 億円、グループ従業員は約 10,200 人です。

■北電BESTについて

北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社（略称：北電BEST [Biz Energy SoluTion]）は、エネルギーに関する様々なニーズに対して、スピーディーかつ最適なトータルソリューションを提供するため 2017 年 3 月に設立された北陸電力 100%出資の子会社です。

PPAサービスやエネルギー設備受託サービス等の各種ソリューションを通じて、エネルギーに関するお客さまの「BESTパートナー」となることで、北陸電力グループの一員として、北陸地域における持続可能なスマート社会の実現に挑戦していきます。

2026 年 6 月時点の北電BESTによる、PPAサービス向け太陽光発電所は 136 件、パネル容量は合計で約 82,000kW になります。（施工中の発電所も含む）

以 上